

第 1 3 回
市立病院評価委員会

令和 8 年 8 月 2 5 日

箕 面 市 議 会

目 次

●市立病院評価委員会（令和８年８月25日）

協議事項 1	評価の取りまとめについて	評－ 2
協議事項 2	協議の場について	評－ 9
協議事項 3	その他	評－11

● 日 時 令和 8 年 8 月 25 日（火曜日）
午後 1 時 0 分開会
午後 1 時 58 分閉会

● 場 所 箕面市議会委員会室

● 出席した委員

委 員 長	中 嶋 三四郎 君
委 員	金 森 いずみ 君
〃	浦 川 倫 子 君
〃	藤 田 貴 支 君

副委員長	田 中 真由美 君
委 員	山 根 ひとみ 君
〃	武 智 秀 生 君

● 欠席した委員
な し

● 審査した事件

協議事項 1	評価の取りまとめについて
協議事項 2	協議の場について
協議事項 3	その他

午後1時0分 開会

●中嶋委員長 皆さん、こんにちは。

ただいまから市立病院評価委員会を開催させていただきます。

本日は全員出席でございますので、委員会は成立をいたしております。

委員各位には定刻お集まりをいただきまして、ありがとうございます。

資料のほうは事前にサイボウズで共有をさせていただいておりますので、そちらのほうをご覧ください。

レジュメを見ていただきまして、本日の協議事項は3つございます。順次進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

協議事項1 評価の取りまとめについて

●中嶋委員長 それでは、早速ですが、まず、協議事項1「評価の取りまとめについて」を議題とさせていただきます。

2点ございまして、まず、1点目から行かせていただきますが、まず1点目は、前回持ち帰り検討にさせていただきました浦川委員からの提案につきまして、本日、意見集約をさせていただきますので、順次委員の皆さんからご意見を賜りたいと思います。

じゃあ、ちょっと手を挙げていただいたので、武智委員から行きましょうか。

●武智委員 お疲れさまでございます。

私、この浦川倫子委員の提案書、何度も熟読しましたが、当委員会として必要ないというふうに考えます。

理由は、前回の会議で藤田委員が、この委員会の目的というのは、アンケート調査の結果を市当局並びに協和会に正確に事実を伝える、これが最大の目的であります。その目的に沿って、これQC（品質管理）の手法ですね、非常に丁寧にQCの手法を使って現状調査、これ議会事務局でアンケート調査の集約をされておりますし、何よりも、今申し上げました目的に沿ってアローダイアグラム、スキームがつくられていると。このスキームの中で、11月に三

者協議というのもあるわけですから、浦川委員がもしこういった形で提案、食といわゆる会計処理の改善について提言されるなら、その場についてご説明すべきであると思いますし、またこのプロジェクトというのが何かよく分からない。この委員会に設定するのであれば、こういったスケジュール、スキームができていますから、またこれ時間とスケジュールも変わってきますし、全くそういうものは私は必要はないというふうに考えます。

市民に寄り添った浦川委員の熱意は非常に感じます、利用者目線での、患者目線で。しかし、それであるならば、例えば前回のこの委員会で発言されました、例えば食事の件に関しては、食がおいしく感じられるような、そういった食器とかそういうものについても言及されましたが、ご自身で調査されたのかと。自分でいろいろそういった調査、あるいは会計処理の件についても現状こうだという、いわゆるそういう現場感というか、自分の目で確認して、それが、もうその魂が籠もって発言しているというようには、私はまだまだこれ、そこまで成熟していないというふうに思うんですね。だから、それであるならば、このいわゆる11月の三者協議の間に、浦川委員自身がいろいろ研究されて調査されたらどうでしょうか。実際に会計の、今、時間が平均、標準でこれだけかかっていると。これを自分で目標を持ってこういうふうに調査、改善を進めていると、個人でやれるだけのことをやって、こういう結果が出ましたというような、そういった発表であるならば、これは企業でやっているQCサークルの発表です。これは、僕は大いに結構ですけど、主観的な部分が多くて、定量的なものがないと。どのようにPDCA、私はCAPDCAと言っているんですけど、現状調査を含めてね。これはもう非常にこれ、委員長が立派なスキーム、アローダイアグラムをつくってくださっているから、あくまでもその中にそういった三者協議の場でもっと掘り下げた、中身の濃い、そういったものを発表していただけたら私はよいかと思いますが、いかがでしょうか。以上です。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

じゃあ、順次ほかの委員さんからもいただきたいと。

ごめんなさい、ちょっと補足をするのを忘れておりまして、前回、浦川委員の提案の中で、基本情報として分かることを少し事前に共有できたらということで、市を通じて協和会さんのほうに何点か問合せをさせていただいていたんですが、ちょっとそのやり取りに時間が、お盆も挟んでしまいましたので、事前にちょっと共有できなかったのも、確認できた点だけをちょっと口頭で申し上げますが、まず、会計処理並びに給食につきましては、直営時代と同様の事業者にもそのまま委託をし、業務を引き継いでいただいているということでございます。あわせて、システムであったりフローにつきましても、特に変更はないということを確認しております。

また、自動精算機の件につきましては、田中委員からも少し言及がありましたが、基本的にはその稼働が3台中1台であったという事実は、協和会のほうは認識していないということと、あわせて、後ほどの取りまとめのほうにもちょっと書かせていただいているんですが、唯一可能性としてあるのは、何月頃からちょっと、ごめんなさい、今、度忘れしましたが、クレジット決済代行会社が倒産したというニュースを皆さんご存じだと思いますが、あのときにそのクレジットの対応として、1日だけ、自動支払い精算機の稼働を制限していたというタイミングはあったようです。ですので、確認できた事実としてはそれが全てだということを一応ご返答としていただいております。

すみません、以上、ちょっと補足をさせていただきました。

では、ちょっともう手を挙げてもらうのもあれなんで、順番に行かせていただいてもよろしいですか。

じゃあ、山根委員、お願いします。座ってでいいです。すみません、別に立ってもいいですけど、座ってで結構です、基本は。

●山根委員 このご提案、前回からということで、ご提案に対しましては、今、直ちに何かをするという必要は、私もないと感じておりますけれども、今

後、アンケートを続けるに当たって、2年、3年と続けるに当たって、何かの事例が、同じような事例がアンケートの数字の上でも著しく顕著に表れているというような事態になりましたら、やはり市議会として、協和会のほうに何かアクションを起こすなり、委員会で何かに取り組むなりというふうにしていけばいいかなと思いますので、個々の事例は記述式で把握はできますけれども、やはりちょっとこの評価委員会の趣旨とは少し違うのかなと。そういうお声もしっかりと拾っていかないといけないことは確かですけれども、やはり今回は初めてといいますか、経過を見て、こういう事例があったということは私たちの共通認識として持っておいて、今後本当に物すごい数でこういうアンケート結果が出たら考えていきたいなというふうに感じます。以上です。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

じゃあ、藤田委員、お願いします。

●藤田委員 山根委員がおっしゃったとおりで、やはりこのアンケートって、傾向を見るのが目的だと僕は思っております、例えば先ほど委員長がおっしゃったような突発的なこと、これ毎年何かしらどっかで多分あると思います、365日やっていけばいろんなことがあるかと思うんで、その一部が数字に反映するということもありますんで、そう考えれば、1年のその数字、数値だけを見て、短絡的に行動するのではなくて、少し長い目を見て、傾向として、やはりこの点について劣っているというようなことがあれば、そこで初めて議論をしたらいいのかなというふうに思っております。以上です。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

では、田中委員、お願いします。

●田中委員 私もこの提案は今回は取り上げなくていいかなと思っています。

確かに会計を待っている時間って、いろんなお気持ちで待たれていると思うんです、診察終わってほっとされている、ほっとして会計を待っている方もいらっしゃるでしょうし、もしくはいろんな病気を言われて不安な思いで待っている方も、いろんなお気持ちの中でこの会計っていうのを待たれ

ておりますので、その間、長く感じる方もいらっしゃるでしょうし、そのお一人お一人がどれぐらいの検査をしたかとかで順番も変わりますし、そういったところも含めると、なかなかまだ一概には言えないのかなっていう気はします。

前回の委員会のときも委員長もおっしゃっていましたが、まだまだ指定管理になっているという認知度が低いっていう中で、先ほどから意見もありますように、来年度もやってみて同じような傾向であるっていうことは、会計も食事を受けている事業者が変わっていない中で変化がないっていうところをまた見極めるっていうことも一つの視点かなと思いますので、今回はなくていいかなと思います。

●中嶋委員長 ありがとうございます。

じゃあ、浦川委員は提案者なので、金森委員、お願いします。

●金森委員 浦川委員、いろいろこの前ご提案を細かく丁寧にさせていただいたので、私自身も市立病院の現状と課題というのはすごく認識できたかなと思っています。

その上で、7月末やったか8月頭やったか、ちょっと時期は忘れたんですけど、協和会さんのほうの病院の評価委員会のほう、傍聴できたので行ってきました。その資料の中でも、やっぱり会計と給食については評価が、ちょっと不満という評価が増えているということで、すごく活発な議論はされていました。特に会計の待ち時間についてはすごい活発に議論されていて、ああ、協和会さんのほうでやったやつも、議会が取ったアンケートの中でも、共通してリンクするものがあつたんだと。それに向けて、協和会さんのほうでも解決策をいろいろ取ってはいらっしゃるようなんですけれども、リンクしているのであれば、こちらとしても調査をしてもいいかなとも、その話を聞いて思ったりもしています。

あと、そうですね、山根委員がさっきおっしゃっていたんですけど、議会が取ったアンケートの結果っていうのは、やっぱり私たち自身も頭の中にはちゃんと入れていて、これからの経過っていうのはきちんと見ていかないといけないなって思っています。

これから、今回提案された部分、給食と、あと会計について、議会と協和会とのリンクしているものがどう変化していくのかっていうのはちゃんと見ていかないといけないと思いますし、著しく多くなかったとしても、誤差の範囲というのは、それこそそれぞれの基準ってまちまちやと思うんですよね、これぐらいオーケーと思う人もいれば、やっぱりこんだけ出ていたらあかんのちゃうと思う人もいるとは思いますが、推移が、やっぱり変化がないってなったら、それはそれで問題やと思うんです。なので、きちんと把握して、今後、またやっぱり同じような、来年もやってみて、ああ、やっぱり同じように解決されていないわっていうんやったら、改めて調査が必要やと思いますし、ちょっとこちらの取りまとめ、昨日やったので、私、きちんと読み込み切れてはいないんですけども、委員会の〔経緯・目的〕の中で、「市民の命と健康を守る地域医療の中核として、市民の安全・安心の醸成に繋がっていることを監視するものである」って書いている以上、やっぱり委員会としてもきちんと頭に入れて、今後の経緯っていうのは見ていかないといけないなというふうに思っています。

なので、今回するかどうかっていうのは別にしてといえますか、今後はやっぱり注意して注目していかないといけない課題じゃないかなというふうには思っています。今回は、はい、皆さんの、はい。

●中嶋委員長 迷いが多いということで、はい、ありがとうございます。

今、各委員の皆さんからご意見をいただきまして、結果としましては、過半数以上の賛同がなかったというふうに判断しますので、今回の浦川委員の提案については取り上げないということを結論とさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、1番の（1）につきましては以上を意見集約とさせていただきます。

続きまして、評価の取りまとめについてということで、本日、別紙1－2を資料としてつけさせていただきます。

なお、レジュメにありますとおり、本日は内容を

ご説明させていただいた上で持ち帰り検討にさせていただきますので、次回の10月23日の開催に最終の意見集約をさせていただきます。

なお、後ほど申し上げますが、それまでに各委員の皆さんのご意見の集約もしたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、別紙1-2をご覧ください。少し簡単にご説明をさせていただきます。

1 ページ目からですが、まず、取りまとめの案として、1 番目に経緯と目的を改めて、ざくっとですが、書かせていただいておりますので、これはもう説明するまでもないと思いますので、またご覧いただけたらというふうに思います。

続きまして、その下、アンケート結果における評価のポイントということを書かせていただいております。まさに今、委員の皆さんからご意見をいただいたとおりということではあるんですが、改めてちょっと読ませていただきますと、今回は第1 回目の実施となるアンケートです。かつ、指定管理者による病院運営が開始されてから1 年が経過したタイミングということになりますので、これを経年で比較するという場合は、直営時代との比較のみが今は可能だということになります。ただし、直営時代って、じゃあ、どこからを指すのかということでは、1981年に開院してからずっと直営でしたので、直営時代は43年間あります。指定管理者になってからはまだ1 年です。ということを行いますと、その時代や社会の背景であったり医療供給体制の違いということは、比較する上で大きな差があるということをお前提にしないといけない。つまり、いただいたご意見が直営時代のご意見だった場合にどの時点のことを指しているご意見なのかということまでは把握していませんし、把握するのは多分無理だと思いますので、そのときにどういう背景があったかということが単純に書いてあることだけでは推測し切れないということもあろうかと思っておりますので、そこは考慮する必要があるかなというふうにまず思っています。

なので、したがって、それらを踏まえた上で、今

回のアンケートにおいて最も評価すべきポイントと考えるのは、指定管理者制度が導入をされた2025年4 月というタイミングにおいて、当然これまでの直営ということから大きく政策転換がされたということになります。その転換がスムーズな病院運営として行われたのかどうかということは少なくとも満足度の比較で見ることができるんじゃないかと、ということをおポイントだというふうに書かせていただいております。

その下に行きますが、それを前提にアンケート結果を見ますと、それぞれちょっとカテゴライズを書かせていただいているとおりでありますが、まず、基礎的な設問については、特に気になったのは、先ほど田中委員も言うていただきましたが、指定管理者制度が始まったということ、もしくは指定管理者が協和会さんであるということの認知度です。一応半数は超えているという状況なので、一概に低いとは本来は言えないんですけども、ただ、少なくともこのアンケートの前提は指定管理者制度になったのでアンケートをしていますというアンケートをしているので、その問いに対して半分の人が知らないというふうに答えるということは、低いと見ざるを得ないのかなというふうに抽出をさせていただきましたので、答えていただいた方が、あつ、そうなんだと思って、でも、4 割は知らなかったよっていつて知らないって答えた可能性ももちろんありますんで、一概には言えないんですが、ここが上がっていくということは一つポイントなのかなという意味合いでございます。

それから、外来に関する項目が問9 から問18にあるんですが、こちらについては、おおむね誤差の範囲内だというふうにまず認識をしています。先ほどの金森委員からの、誤差の捉え方っていういろいろありますよねっていうことは、当然そうだというふうに思います。ただ、増減というのは必ずあるものですので、それがどのパーセントまでがオーケーなのかということは、少しすり合わせながら今後も考えていきたいなというふうに思うんですが、現時点ではおおむね増減はないという範囲なのかなというふう

に書かせていただいております。ただし、その中でも、その誤差を少し超えているのかなというふうに抽出できたのは、ドクターやその他スタッフへの相談のしやすさとか言葉遣いや態度といった項目については、その誤差を超える上昇値が見られるということがありましたので、そのことに触れさせていただいております。

続きまして、入院のほうが問19から問30までになりますが、ここは2つありまして、1つは、一般的な評価として満足度が低くなりがちなのが給食という評価だと思っています。これは先ほどのお話の中でもあったように、市の第三者委員会でもそういう議論があったということなので、どの視点から見ても、課題意識にずれはないのかなというふうには思っています。

一部では、満足度の低下傾向が見られる項目、つまりマイナス値となっている項目もありますが、基本的には先ほどと同じように、今回の調査としては誤差の範囲内なのかなというふうに思っています。

それから2点目が、施設の老朽化が要因とされるんじゃないかなと思われるのが、浴室、トイレの評価が低下傾向だということだと思っていますので、この点は誤差の範囲というよりは、よくなる要素がないので、注視は必要かなということを書かせていただいております。

その下に、ご提案もありましたので、給食についての記述を少し詳しく書かせていただいております。

まず、1つ目のちょぼですが、入院時における給食というのは、基本的には病状の回復段階に応じて、塩分や油分を抑え、栄養配分をコントロールされていることが前提です。この塩分や油分というのが、通常は人がおいしいと感じることに直結する要素ですので、当然、それが抑えられていれば、おいしく感じる人の割合が減るとというのが単純な構造だというふうに思っています。ここに個々の好き嫌いも含めて、おいしさという個人的な、個人個人の主観的な尺度が表現されるということになりますが、ちなみに学校給食でも一定おいしくないというふうに答

える人の割合は存在しますので、仮に病院食がどれだけおいしかったとしても、全員が満足するという状況には、まず絶対ならないということも一定の原則かなというふうに思っていますので、病状を回復する段階でコントロールをされている食事とおいしいという尺度はそもそも整合性が取りづらいということが、一般的に給食の評価が低いとされる要因ではないかなというふうにまず書かせていただいています。

2点目、冷凍食品の記述がありましたが、通常考えて、栄養面から既存の冷凍食品を使うということはまず想定できないと思いますので、どういうやり取りがあったかは、あれからは全てを推察することはできませんが、少なくとも食材として冷凍食品を使用されているということは当然であろうかと思えます。それは当然のことながら、衛生面や安全上の配慮として、例えばお肉や生の食材を大量に仕入れるなんていうことは当然ないわけで、そのことを前提にしているため、冷凍食品イコール駄目だと、もしくは冷凍食材イコール駄目だという判断には当然直結しないということが前提かなというふうに思っています。加えまして、市直営時と同じ業者が担っているということが、まず大前提であるということに加えて、食材費が適正かという議論は確かに想定上はあるかというふうに思いますが、当然仕入れの努力として食材費が減ること、もしくは物価の高騰に対して食材費が上がることというのは、総合的に常に起こり得ることですので、なかなかどのように食材費が適正なのかということ判断するのは、仮に仕入れの状況がどうかということ把握したとしても、恐らく難しいんじゃないかなというふうに思っていますので、よほど大きな変動が見られない限りは、問題点として抽出することがあまり適切とはい言切れないんじゃないかなということも2点目に書かせていただいています。

一方で、既に取り組まれているという部分もあるんですが、給食に対して、メニュー表であったり写真であったりというふうに、現場の中で創意工夫をいただいていることに加えて、当然、給食事業者業

界もいろんな技術革新を起こしていきますので、その中で当然おいしさにつながっていくような革新も日々生まれていくものだというふうに思いますので、今後の評価をまずは十分に注視するということと併せて、今の厨房上、できないこともあるというふうにお聞きをしておりますので、新病院に向かつては、厨房等の施設と合わせた改善が期待できるのではないかなということもプラスアルファとして書かせていただいております。

続きまして、サービスに関連する項目、問31から36についてですが、まず1点目は、診察や検査までの時間、予約方法・受付手順、受付スタッフの対応については、満足度の上昇傾向が基本的には見られます。ここには直接書いていませんが、恐らくこれが会計と少し結びつく要因ではないかなというふうに思っています。

ごめんなさい、書いてあるね、その下に書いてあるわ。これが上の話とつながるところなんです、会計の支払い時間については、一部自由記述で待ち時間が長いとの意見がございました。ただし、実際のアンケートにおける支払いまでの時間はスムーズでしたかという項目については、満足の加減はマイナスの1.3%、これは間違いなく誤差の範囲だろうと。かつ、満足の割合も6割程度ですので、一般的に不満が多いとは言えない状況です。それを踏まえた上で、なぜこういうことが起こるのかというのを、また後ほどに、この下のところに書かせていただいております。

会計の待ち時間の意見については、まず大前提として、総合病院における会計は受診した診療科や実施した検査によって、一定の時間がかかると、つまり、行って30分で済むみたいなことはそもそも、なかなか起こり得ないということが一般的です。

しかし、今回の評価で幾つか課題として抽出されたものに直結することとしては、一つは、移行のタイミングが年度の替わりと重なっているということで、会計事業者のほうの人事異動が重なっていたということを確認しております。このように幾つか繁忙的な時期って、ごめんなさい、ちゃんと書いてい

ないんですが、一応会計事業者の人事異動にかかわらず、そもそも年度初めの5月ぐらいまでは繁忙時期というふうに通常あるみたいなんです。そこから夏場の繁忙時期を過ぎて、秋頃に向けて少し落ち着いていくというのが通常の状態みたいなんです、そういう季節的な繁忙期の要因も含めて、会計の評価が、数字だけを見ると少し下降傾向になったのではないかなというふうに推測ができます。

2つ目のちょぼ、指摘のあった中で、会計の委託事業者の変更は、先ほどご報告したように、行っておりませんし、これまでと同様のフローで業務を行っております。かつ、自動精算機についても、クレジット決済代行会社の倒産に伴う対応時を除いて、稼働の問題は確認をされておられません。

その上で、一部自由記述にある長い待ち時間については、まず、診療科や検査等の実施状況によるため、例えばほかの病院と比べて長かったみたいなご意見が今後もあるかというふうに思うんですけども、基本的に、じゃあ、その方が違う病院に行ったときに同じ診療科で、同じ状況で、同じ診断を受けて、同じ検査をするということはほぼあり得ないと思いますので、大変申し訳ないんですが、単純な他院との比較というのはなかなか成り立たないかなというふうに思っています。その上で、長時間を要するケースとしてどういうものがあるのかということを確認した中では、一つは、薬の処方があった場合、かつその薬の処方について、最終の確認や途中での変更が生じた場合、待っているご本人には分からない中で、ドクターへの確認が必要になります。例えばそのときにドクターが診察に入られているというふうな状況があれば、その診察が終わるまでその確認を待たないといけないということになるみたいなんです。例えば個別のケースとして起こり得る長時間になってしまう要因、余地としてはそういうケースがあるんじゃないかということの一つ確認をしております。

その上で、初めの言い方に戻りますが、総合病院では一定の滞在が当然必要になります。その中で、診察や検査をお受けになるというのは、個々の状況

によっては違うかもしれませんが、それなりの時間を経た上で、会計の支払いに向かいますので、恐らく通常の場合、その時点で相当のストレスを感じておられるはずです。これはなぜこういう見立てになるかという、質問項目の中で、診察や検査までの時間はスムーズでしたかということに対しては、特に不満は高くないんです。ということは、診察や検査は必要なものだというふうに認識をされているので、当然一定の時間がかかったとしても、それに対して強い不満はなかったと。ただ、そこでストレスは当然感じていますので、その状態で会計に多少いつもよりも時間がかかると、当然強いストレスを感じるというのが通常の構造だというふうに思いますので、これが、会計の満足度が低くなる一つの傾向的要因ではないかなというふうに思っています。その場合、なぜ今、その方に時間がかかっているのかということをご説明いただければ、当然一定の理解は得られるはずだし、恐らく取り組んでおられると思うんですけども、それでも不満を感じたのか、もしくはそのご説明が十分ではなかったことによって不満を感じたのか、そこは分かりませんが、そういう要因が起り得るということに対して、利用者の側にも理解をいただくことが相対的に満足度の傾向を上げていくためには必要だということがまず1点、最後に書かせていただいているのと、それから、決済のシステム技術も日々更新をされておまして、例えばもう会計を通さなくても、クレジット決済ができるみたいなシステムも最近出始めているみたいですので、今後そういうものが導入されれば、さらにそのストレスが解消されるということにもなるかと思いますので、そこは大いに期待をしたいところだなということを書かせていただいております。

続きまして、設備と環境のところは最後、37番から40番ですが、ここは若干ちょっと面白い違いだなと思ったのは、入院ではトイレの項目について不満が少し上がっているという状況がありましたが、この設問は主に外来を意味するというふうに思うんですが、外来にいられている方の中で、トイレの清潔性については満足度はむしろ上がっているという

ことでしたので、恐らく清掃であったり、日常の利用管理は徹底をいただいている状況にあるのかなというふうに見てとれました。

というのが、個別の項目の中から今回の提案で出た意見や自由記述で書かれていたものも含めて抽出をさせていただいた内容になります。

最後ですが、総評と課題点への要望ということで、まず、総評ですが、初めに言ったように、今回の最も評価すべきポイントは、指定管理者への運営移行が利用される方にとってスムーズに行われたかどうかということにつきましては、数値上はスムーズに行われたと十分評価することができるのではないかなというふうに書かせていただいております。

実際にそうなった要因の一つとして、医療スタッフやドクターの皆様はじめ、指定管理者の職員の皆さんがご努力をいただいているというのは、個別の項目でその評価が上昇傾向になっているということも一つ、それを表すものではないかなということを経営として書かせていただいていることです。

続きまして、総評の一部ではあるんですが、課題として4点ほど出させていただいておりますが、認知度、それから会計の待ち時間、入院時の給食、それから現市立病院の設備ということで書かせていただいておりますが、認知度につきましては、先ほどのとおりです。指定管理者になったんだよというアンケートを取ったのに、知らない人の割合が高いというのは、1回目ならではなのかもしれませんが、基本的にはやっぱり7割、8割ぐらいの認知度があるべきかなというふうに思っているのと、それは基本的には相対的に全体の満足度に関することだというふうに思っています。つまり、病院がどういう方向性を向いていて、どういう運営がされているのかということの、これ病院だけでなく、ほかの施策、何でもそうだと思うんですが、市の施策に対する理解度も認知度が上がれば、当然そこに対する満足度は相対的に上がるということですので、ここは一定、それを引き続き求めていく必要があるかなということを書かせていただいております。

続きまして、会計の点については、認識は先ほど

書かせていただいたとおりにんですが、やっぱり相対的に満足度が低くなるということは避けられない項目かなというふうに思っています。ですので、先ほど言いましたように、自由記述にあるような方が生じない対応をまずはしていただく必要があるということで、当然時間がかかっている利用者の方については、なぜ時間がかかっているのかということをご丁寧に対応いただくということがまず一つ。

それから、これも一緒なんですが、そもそもなぜ時間がかかるのかということをご理解いただくということが、これも相対的に評価を高める要因になるのではないかなということでございます。

給食についても同様でございます。実際、恐らくいろんな工夫をされているはずですが、ただし、おいしくないということがどうしても先行してしまいますので、病院食というのはどういうものなのかと、どういうところに工夫がされていて、どういう努力をされているのかということをご十分発信することが相対的な評価の向上につながるものだというふうに感じていますので、そこの取組を求めていくというのが3点目です。

4点目が、設備の話なんですが、ここはちょっと難しいところだなと思いつつ書いたんですが、そもそも設備に課題があったとて、建て直しが前提になりますので、じゃあ、そこにどこまでお金をかけられるのかということとは当然議論になるところだというふうに思いますし、なかなか取り組みにくいところだというふうに思います。ただし、新しい病院ができるといっても最低数年はかかりますので、その間の利用者の方に、いや、もう建て替えるんで、すみませんが今の皆さんはそれで不満足のまま使ってくださいと言い切れるかというと、当然そんなこともありませんので、そこはやっぱり臨機応変にやっていただかないといけない。将来を考えつつも、できるだけ今の利用者の方にも不満足を与えないような対応を少し、難しい中ですが、当然努めていただくということが必要なことだなというふうに思っていますので、その点を4点目に書かせていただいております。

ということで、ごめんなさい、ちょっと長くなりましたが、以上が取りまとめの案として、この間、皆さんからご意見として出していただいた点も踏まえまして、私のほうで書かせていただいた内容になります。

ですので、一応これは今日お持ち帰りをいただきまして、次回に意見集約をさせていただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

何か質問ございますか。別になくても大丈夫ですけど。

はい、どうぞ。

●浦川委員 質問というか、意見集約の方法というのはどういう形なのでしょうか。

●中嶋委員長 ちょっとそれ、後ほどでもいいですか。

●浦川委員 はい、すみません。

●中嶋委員長 ごめんなさい。

では、以上が取りまとめ案の提案になりますので、本日は持ち帰り検討とさせていただきます。

協議事項2 協議の場について

●中嶋委員長 続きまして、ちょっと意見集約の話は最後にさせていただきますので、次回の予定のところでさせていただきますので、続きまして、2番の「協議の場について」をご説明させていただきます。

まず、別紙のほうはスキームとスケジュールをつけさせていただいておりますが、協議の場につきましては、先ほど武智委員からもおっしゃっていただきましたが、今回は全国初を銘打っているところもあるんですが、協和会さんにもご協力をいただきまして、三者で意見交換をする時間を、場を設けるということを趣旨とさせていただいております。

具体的な開催日程なんですが、ちょっと先に日程の調整をさせていただきました結果、11月13日金曜日の午後1時からこの委員会室で開催をさせていただきたいと思っております。皆さんにもご出席をいただきますので、ご予約をよろしく願いいたします。

出席者のほうなんですが、市立病院評価委員会の

委員の皆さん、それから協和会の皆さん、それから健康医療部医療政策課の担当職員ということで、協和会さんと市のほうの出席者はそれぞれにお任せしておりますので、出席者が決まりましたら、また皆さんのほうにも送付させていただきたいと思います。

次のページに行ってくださいまして、実際の開催方法についてなんですけども、まず、協和会さんのほうにもご足労いただく形になりますので、ちょっと長時間拘束するというのはできれば避けるべきかなというふうに思いまして、おおむね1時間程度を開催の時間とさせていただきたいと思っています。ただ、そうすると、限られた時間になりますので、開催の方法としましては、まず、先ほどのものが最終集約された評価の取りまとめを事前に市と協和会のほうに提出をさせていただきます。当日までの間にその取りまとめについての返答とまではいきませんが、市と協和会側の見解であったりアピールすることがあれば、そのことも含めて、文書でご回答をいただきたいと思っています。ですので、皆さんの手元には事前に取りまとめの評価と向こう側からいただいた返答の文書、この2つが手元に渡るという形になります。当日は、その2つについて、それぞれ概要を交換させていただいた後、委員の皆さんにも少しご質問をいただく時間を取りたいなというふうに思っています。ただ、ちょっとどこまでその質問の時間が取れるかということは、1時間程度の中の話ですので、細かく聞くと多分全然時間は足りないというふうに思いますので、事前に内容のほうは確認をいただいた上で、多くとも1人1つか2つ程度になるというふうにご理解いただければありがたいなというふうに思っております。

ちょっと口頭で申し訳ありません。また、開催の概要につきましては、出席者等が出そろい次第、皆様のほうにも正式な流れを共有させていただきたいと思っておりますが、今日のご説明としてはそういった形で想定をしております。

最後、5番目のところで、協議の場開催後の予定について少しだけ触れさせていただきますが、本委員会は、本委員会のサイクルに合わせて、通常の9

月議会での役員改選から時期をずらしまして、12月の改選となります。ですので、協議の場を開催した以降につきましては、役選を迎えるということになりますので、それが恐らく12月の中旬頃に評価委員会をまず開催し、今後に向けた申し送りを確認した上で、下旬に委員の選出と互選をお願いするという形になるかというふうに思いますので、よろしく願いいたしますというのと、あと、これあくまでお願いベースの話ではあるんですが、できましたら、もう1年ほどはこの委員の皆さんにお願い、にらまれています、お願いをしたいというのは、委員長としては本音であります。また新しい方が来られて、一からいろんなことを説明しながらやるというのは、もうちょっとサイクルに慣れてくれば、それでいいと思うんですが、できればその辺を省きながら2年目ぐらいまではやらせていただけたらありがたいなとは思っておりますが、各政策会派ごとに役割の分担であったり、いろいろあるとは思いますが、これはあくまでお願い程度で、別に替わっても構いませんので、ちょっと一応伝えるだけ伝えていただけたらありがたいなと思っております。

ということで、以上が2つ目の協議の場につきましてのご説明になりますが、何かご質問ございますでしょうか。

はい、どうぞ。

●山根委員 開催方法についてのところでおっしゃっていただいていたんですけども、委員からも質問する時間があるというふうに、限られた時間ですけれどもということだったんですけども、この委員会の本来の目的は、広く市民の方からのお声を協和会に届ける、行政と三者でよい病院にしていこうという趣旨だと思いますので、通常の常任委員会であつたりというところとは違いますので、個々のこの委員が、これどうなってんの、あれどうなってんのという話は避けたほうがいいと思うんですね。ですので、委員からの質問って必要かなというふうに感じるんですけど、いかがでしょうか。

●中嶋委員長 すみません、ちょっと私の説明不足がございまして、基本は今のご意見についてはそう

だなというふうに思っています。その上で、ご質問の機会というか、そもそも考えたのは、もちろん委員の皆さんからいただいたご意見を取りまとめとして集約させていただいているんですけども、当然協議の場の中で皆さんにご発言をいただく機会をつくるべきかどうかということについては少し悩みました。その理由は、今、山根委員から言っていたとおりです。そういう意味でいうと、例えば自由に意見を言うていただこうかみたいなこともあったんですけども、ただ、その場で突然言われても、市も協和会も反応できなかったりとか、問うていることの意味合いが伝わらなかったりということもあろうかというふうに思いますので、意見を言うというのは少し控えておこうかなと。その上で、今、質問の時間というふうに申し上げたのは、先ほど言いましたように、我々の評価の取りまとめと、それに対しての向こうからの文書が出てきております。ですので、質問ということの範疇は、向こうから返ってきた内容についてのご質問があればしていただこうかなという意味合いでございまして、ちょっと説明が不足しておりましたが、そういう感じでやらせていただけたらなと思っております。

ほか、どうぞ。

●浦川委員 失礼します。今日も傍聴者はいないんですけど、一応放映、放送されていると思うんですが、これは公開でやるのか非公開でやるのか、どういう形でやるんですか、教えてください。

●中嶋委員長 協議の場は基本公開です。ただし、通常の常任委員会等ではありませんので、放映のほうはしませんという、通常の形にのっとってやろうかなというふうに思っております。

●浦川委員 ということなので、傍聴希望の方がいたら傍聴できるということ。

●中嶋委員長 傍聴できます、はい。

●浦川委員 ありがとうございます。

●中嶋委員長 協和会さんにも入っていただいているので、本来、別に協和会さんは参加いただかなくてもいいというのが前提なので、わざわざ来ていただくということも踏まえて、ちょっと放送まではあ

れかなと思ひまして、通常の形でやらせていただきたいなと思っておりますので、よろしく願ひします。

ほか、協議の場についてはよろしいですか。別以後で聞いていただいても全然いいんで、後っていうのは、会議終わってからでも全然構いませんよという。

ほんなら、ちょっと先に行かせていただいてもよろしいでしょうか。

協議事項3 その他

●中嶋委員長 最後、その他のところで、次回の開催については、10月23日を予定しておるんですが、先ほど言いましたように、その会議に向けて意見集約をさせていただきたいと思っておりますので、ちょっとそのやり方を少し事務局から補足をいただきたいと思ひます。

●議会事務局 すみません、先ほどの評価の取りまとめの持ち帰り検討になっている分なんですけれども、10月23日で取りまとめするに当たって、ちょっと事務局のほうで先に取りまとめをまとめさせていただきたいということもありますので、またL o G o フォームのほうで委員の皆さんに展開をさせていただきまして、できれば締切りのほうは大体3週間後ぐらいの9月18日を締切りとさせていただきまして、何か意見等がありましたらL o G o フォームのほうで回答いただくという形でさせていただきたいと思っております。

もし意見がない場合は、L o G o フォームでの提出が9月18日までになれば意見なしという形で、こちらのほうで、事務局のほうで取りまとめをさせていただこうかなと思ひますので、必ず意見がある場合はL o G o フォームでの提出をお願いしたいと思ひますので、よろしく願ひいたします。

L o G o フォームのほうは、また後日委員の皆さんにサイボウズのほうで展開をさせていただこうと思ひますので、よろしく願ひいたします。

●中嶋委員長 ということで、L o G o フォームでの提出としたいと思っております。締切りは9月18

日の15時までとさせていただきます。L o G o フォームなので、それを過ぎるとL o G o フォーム閉じちゃいますので、必ずそれまでに出示していただきますようお願いします。

それから、出さない場合は意見なしという取扱いにさせていただきますので、意見がない方は特に出示していただかなくても大丈夫ということにしたいと思います。

というのが、一応、ごめんなさい、待たせてしまったんですが、先ほどの意見集約の方法についての補足でございます。

何かご質問があればどうぞ。

はい、どうぞ。

●山根委員 9月18日までに取りまとめを報告、意見がある方は報告して、次の評価委員会が10月23日で、この意見集約されたことを確認といいますか、確定させていくという作業になるので、その後、病院と理事者に対して送るというスケジュールでよろしいですか。

●中嶋委員長 そうですね。

●山根委員 評価委員会から協議の場まで20日間しかありませんので、それで回答をその間に得るというスケジュールでよろしいですか。

●中嶋委員長 一応、そこは市のほうと少しすり合わせをさせていただきまして、我々の意見集約が23日になってしまいますので、その時点で最終決定をし、お渡しをしたら、13日に間に合う形で文書回答ができるかということについては、できるというふうに聞いておりますので、そこは大丈夫かと思います。

ちなみに、ごめんなさい、ついでの話で補足しますと、皆さんから意見を出していただいたものにつきましては、私のほうで確認をさせていただきまして、取りまとめに反映するかどうかを判断させていただきたいというふうに思っています。基本的にはできるだけ皆さんからいただいた意見については、反映をさせたいというふうに思っておりますが、ちょっとご提案や書いてある内容として、事実関係と少しずれているものであったり、主張としては分か

るんだけど、意見の取りまとめには入れにくいなというものについては、申し訳ありませんが、反映ができない可能性があるということと、ただ、せっかく出していただいた意見なので、いつものパターンではありますが、こういう意見もあったよぐらいは可能な範囲で含めたいなとは思っておりますが、ちょっとその辺もイメージしながら意見集約を出していただけたら大変ありがたいというふうに思います。ただ、今さら、今までの議論と取りまとめと全く関係ない視点を出してこられても、なかなか反映できませんので、一応この間、皆さんから意見として出していたポイントであったり、それについての認識や事実関係を書いているということですので、その点は少しご配慮いただけたらありがたいと思います。

はい、どうぞ。

●山根委員 23日の評価委員会のときにはもう完成形が手元に来るということで、今おっしゃったこの意見、もう少し取りまとめの文書にこれを入れてほしい、あれを入れてほしいという意見に対して、これはちょっとというのは、その個人の委員と委員長とで協議していただくということでよろしいでしょうか。

●中嶋委員長 そういうパターンもあるかもしれませんが、基本をいいますと、18日に、まず皆さんから出していただきます。それを私が拝見させていただいて、修正作業をさせていただきます。それを事前に、また皆様のほうに投げ返します。そこでご確認をいただいた上で、23日に最終の決定をいただくというのが、まず通常の流れかと思います。私の取りまとめの案をもう一度皆さんのほうにお送りをさせていただいた段階で、もしどうしてもこれがということがあれば、当然私のほうに言っていただけたらご相談をさせていただきたい、入れられるかどうかはそのときの判断によるかと思いますが、ご相談は全然いただけたらというふうに思いますし、もしそれが私としても入れるべきだというふうに判断した場合は、追加で皆さんのほうに、この点の修正を加味したものを改めて送り直させていただくという

ことが出てこようかと思いますが、できればそういうことがないように、事前の18日の締切りに全て出し切っていただけたら、ありがたいなというふうに思っております。

よろしいでしょうか。

はい、どうぞ。

●浦川委員 失礼します、すみません。9月18日までに意見があればなので、レベル感によると思うんですけど、例えばこの書き方をこうしたほうがいいと思うとかいうんだったら、そのままL o G o フォームに書いたら伝わると思うんですけど、例えばここに書いてあるこの文、私もまだざっとしか読んでいないので何とも言えないんですけど、この文章のこの意味はこういうのですかとかいうの、今までは結構何度かこの委員会とかでもやらせていただいていたと思うんですけど、そういうのは18日までにどうしたらいいですか。

●中嶋委員長 私のほうに直接聞いていただけたらご説明はしますが、特にさっき説明した以上の意味はないので、もしあれば追加でサイボウズで私に送っていただいてもいいですし、直接言っていただいてもいいですし、中身のご説明が必要な点があったらそのようにしていただけたらと思います。

出していただくときは、できたら今の流れの中で、どこが修正なのか、どこが加筆なのか減らすのかみたいなことを書き込んでいただけたらありがたいなと思っております。

●浦川委員 はい、分かりました。

●中嶋委員長 はい、お願いします。

では、その他のところ、よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、その他を終わらせていただきまして、以上をもちまして本日の協議事項は全て終了となりますので、これをもって本日の評価委員会のほうを終了させていただきます。どうもありがとうございました。

午後1時58分 閉会

箕面市議会市立病院評価委員会設置規程第6条の規定により作成する。

令和8年8月25日

市立病院評価委員会

委員長 中 嶋 三四郎